【樹木の部屋】

アカバナヒョウタンボク（スイカズラ科スイカズラ属　Lonicera tatarica）

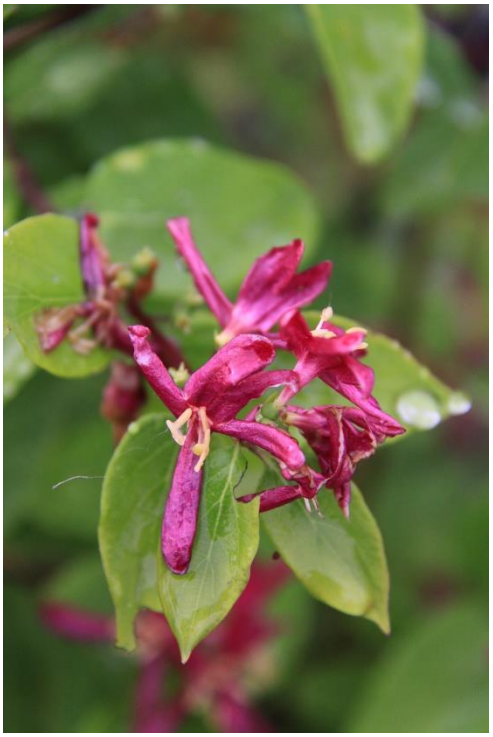
和名：アカバナヒョウタンボク（赤花瓢箪木）　別名：

英名：Tartarian honeysuckle

マツムシソウ目　半つる性落葉低木　　原産地：日本、中央アジア

花言葉：　　花の色：赤

← 写真-１　アカバナヒョウタンボク
撮影日：2014 年 06 月 22 日
撮影場所：タルキートナ（アラスカ）にて
撮影者：Ｍ　さん



→ 写真-２　アカバナヒョウタンボクの花
撮影日：2014 年 06 月 22 日
撮影場所：タルキートナ（アラスカ）にて
撮影者：Ｍ　さん

デナリ（マッキンリー）山登山のベース基地。植村直己さんもここを拠点にされていたそうです。宿泊ホテルの窓からは、デナリ山が見えるはずでしたが、生憎の空模様で・・。ホテルの庭を散策中に見かけました。アカバナヒョウタンボクは、スイカズラ科の落葉低木です。赤い実がふたつくっついたような実がつき、これがひょうたんに似ていることからこの名前がついています。

ベニバナヒョウタンボク・・と思われるかも知れませんが、ベニバナヒョウタンボクは北海道に自生するとされています。なお、ヒョウタンボクは、落葉低木で初夏に白い花が咲きますが、名前の由来である実には強い毒性があるので要注意です。